



平成 29 年 3 月 22 日

各 位

会社名 株 式 会 社 ミ サ ワ
代表者名 代表取締役社長 三澤 太
(コード：3169 東証第一部)
問合せ先 取締役シニアマネージャー 鈴木 裕之
(TEL. 03-5793-5500)

通期業績予想と実績との差異に関するお知らせ

本日、公表いたしました「特別損失（減損損失）の計上に関するお知らせ」及びその他の影響により、平成 28 年 7 月 11 日に公表した連結業績予想と本日公表の実績値に差異が生じたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 平成 29 年 1 月期連結業績予想と実績との差異（平成 28 年 2 月 1 日～平成 29 年 1 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	百万円 8,501	百万円 248	百万円 230	百万円 156	円 銭 21.98
今 回 実 績 値 (B)	8,147	△179	△215	△416	△58.70
増 減 額 (B - A)	△353	△427	△445	△572	—
増 減 率 (%)	△4.16	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (平 28 年 1 月期)	8,079	79	58	△76	△10.94

2. 差異の理由について

売上高につきましては、継続した異業種の参入による競争の激化を背景にして、既存ブランド「u n i c o」においては、販売員の販売力の低下とそれによる集客力の伸び悩みが生じていることなどが主な理由であります。また、当期下期に立ち上げた新ブランド「u n i c o l o o m」においては、販売ノウハウの蓄積までに想定よりも時間を要していることや、販売員の確保に難航しているために収益貢献が遅れていることなどが主な理由であります。

営業利益、経常利益につきましては、上記の要因に加え、当初の予想を上回るポイント引当金、株主優待引当金の繰入額の増加によるものであります。

親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、収益性が低下した店舗に係る減損損失の計上、海外子会社の火災による損失によるものであります。

以上の要因により、売上高は予想値 8,501 百万円から実績値 8,147 百万円、営業利益は 248 百万円から△179 百万円、経常利益は 230 百万円から△215 百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は 156 百万円から△416 百万円となりました。

(注) 同日付で、平成 29 年 1 月期決算短信を公表しておりますので、業績の詳細につきましてはそちらをご覧ください。

以上